

経営比較分析表（平成28年度決算）

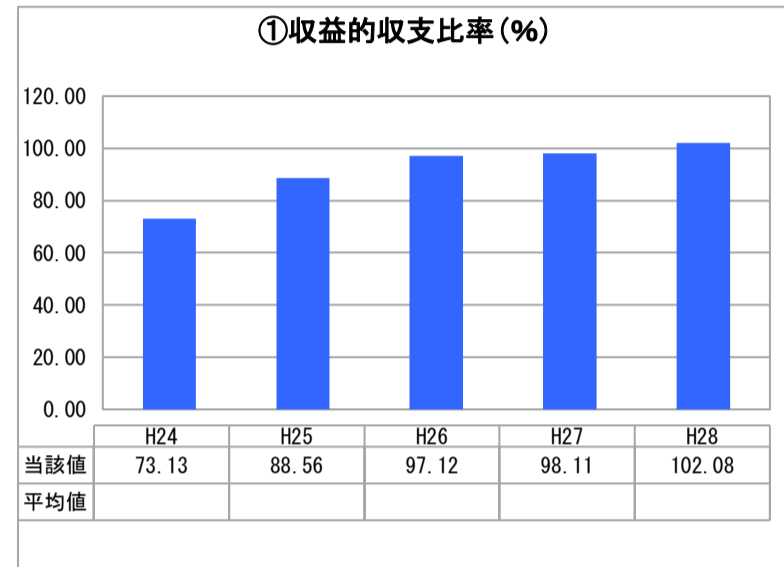
埼玉県 松伏町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.48	100.00	3,780

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,102	16.20	1,858.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
143	0.04	3,575.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



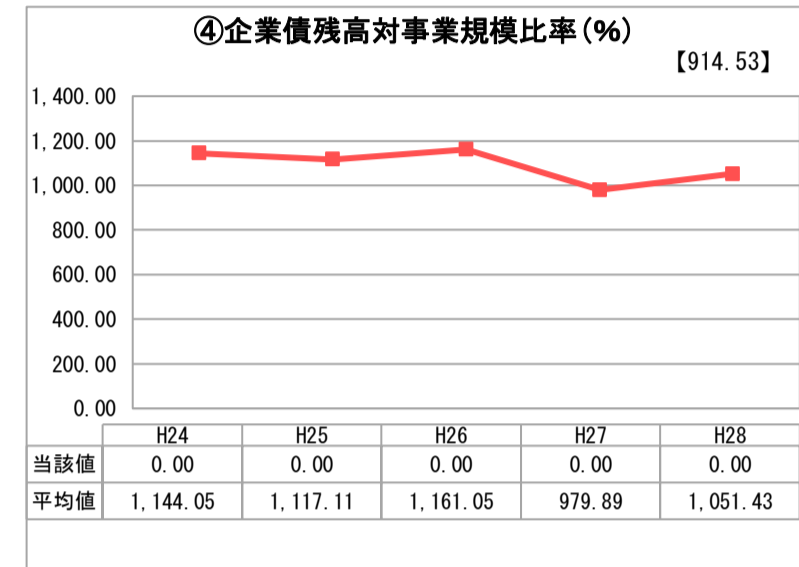
「単年度の収支」



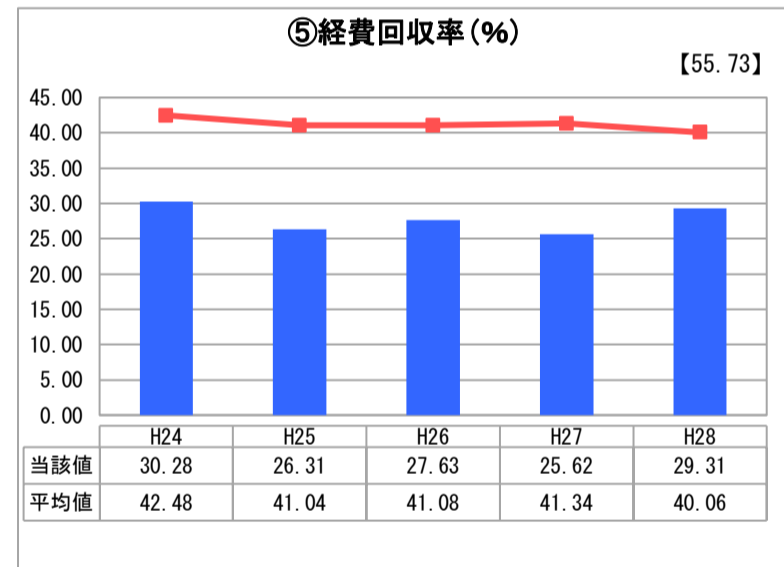
「累積欠損」



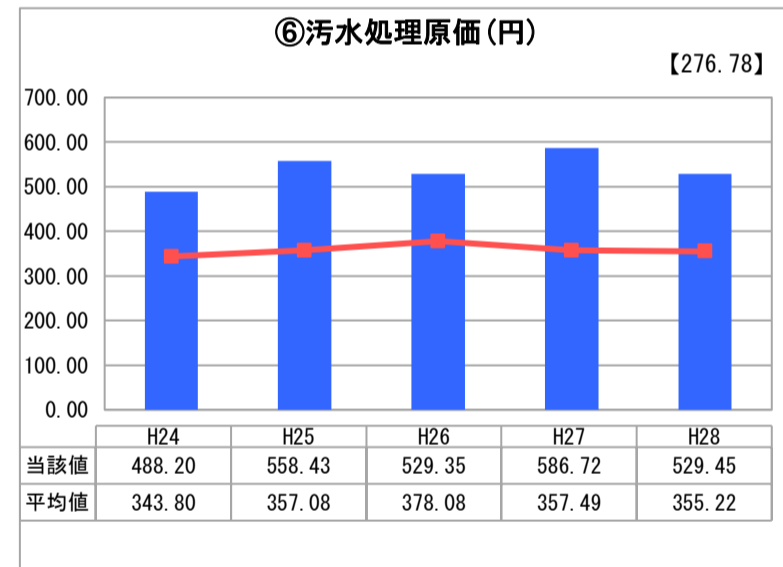
「支払能力」



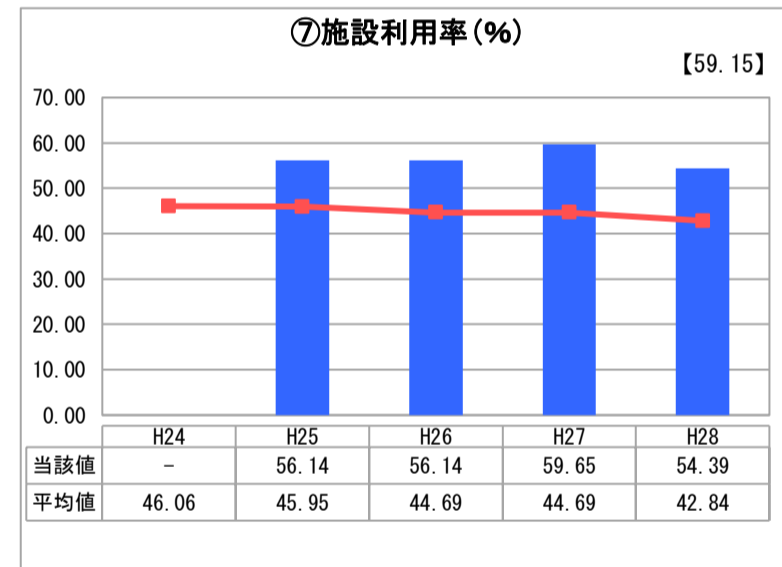
「債務残高」



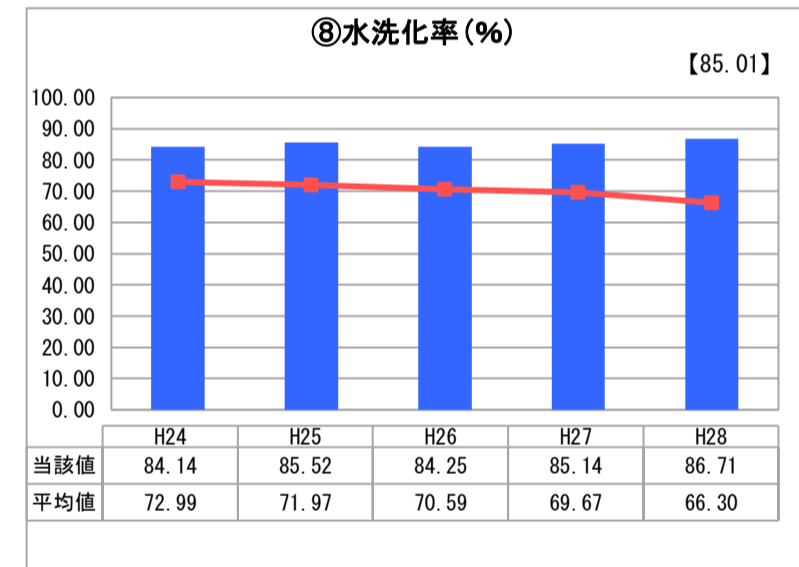
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

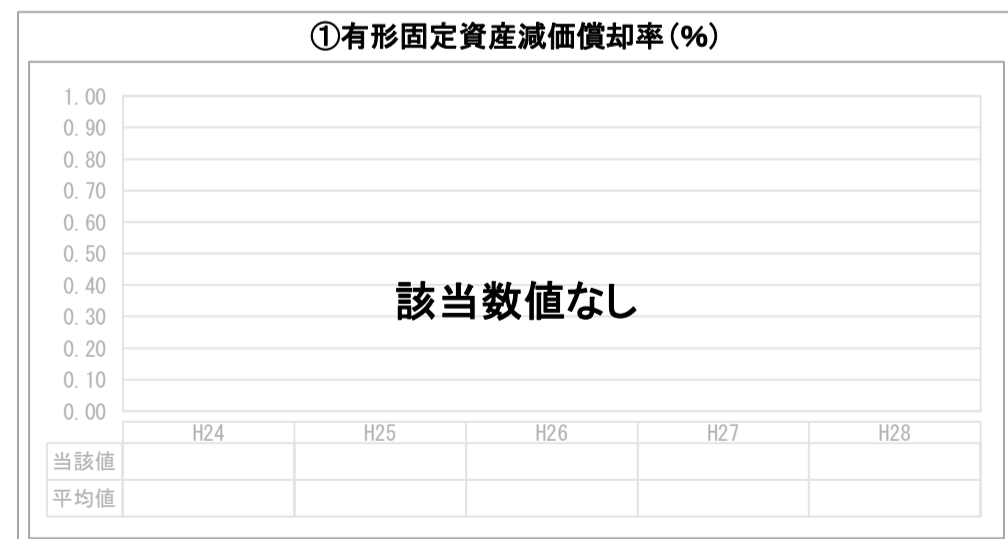


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

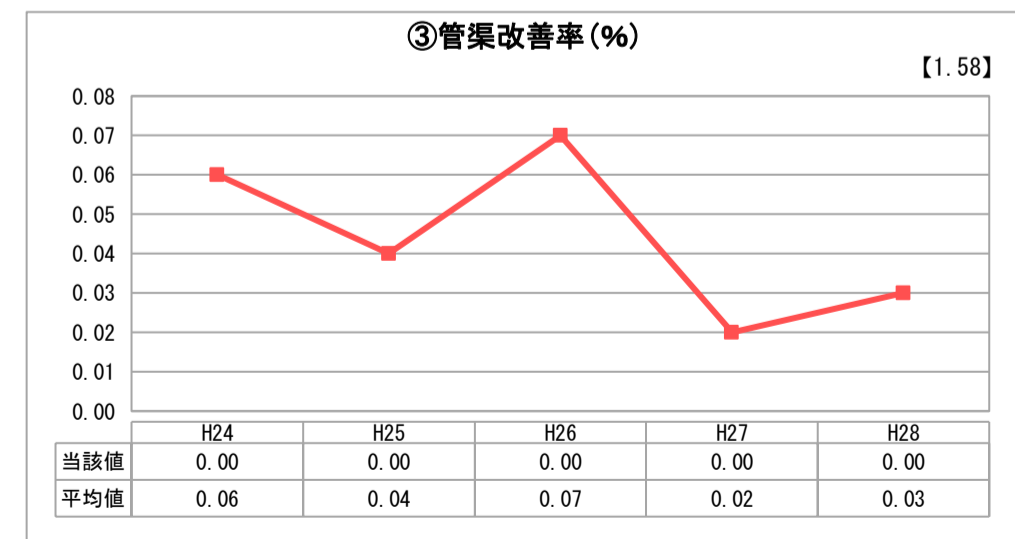
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
総収益の増加に伴い、収益的収支比率は増加傾向にあります。これは、農集利用世帯の増加とそれに伴う受益者分担金によるものだと考えています。

⑤経費回収率
農業集落排水施設の汚水処理に係る経費については、主に人件費を繰入金で対応しているため、その経費分を回収し切れていないと考えています。

⑥汚水処理原価
類似団体よりも高い数値を出しているが、小規模であって戸数も少なく、有収水量が少ないことが原因であると考えます。

⑦施設利用率
類似団体よりも高い数値を出しているが、農業集落排水施設の処理能力には余裕があると考えます。

⑧水洗化率
小規模であって戸数も少ないため、高い水洗化率を示しているものと考えます。

2. 老朽化の状況について

供用開始からおよそ13年を経過したところではありますが、施設や管路については耐用年数から見ても老朽化については問題ありません。機械・電気設備についてはメンテナンスやオーバーホールで対応できる状況です。

全体総括

年数が経過していくと、施設の維持管理を適正に行ったとしても、修繕費の増加は避けられないと考えられます。

また、収入面においては、現在の徴収率は100%ですが、人口減少等に伴う水洗化人口の減少によって、使用料の増収が見込めないことが想定されることから、事業を実施していくための財源確保については厳しい状況になっていくことが考えられます。

このような状況を踏まえ、限られた財源の中、適正な事業計画と財政計画を基に経営を行ってまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。